



湘南地区まちぢから協議会

コロナ禍において、「ドリーム型」で市長と語る会開催



冒頭挨拶する後藤会長



行政出席メンバー 9名

- 日時: 令和3年10月3日(日)9:30~10:30
- 場所: 茅ヶ崎市総合体育館 2階会議室
- 出席メンバー

➤ 行政出席者: 9名

佐藤市長、塩崎副市長、岸副市長、熊澤総務部長、三浦市民自治推進課長
加藤課長補佐、窪田主査、遠藤主査、森島主事

➤ 湘南地区まちぢから協議会出席者: 11名

後藤会長、高山副会長、南副会長(兼: 子ども育成部会長)、市場事務局長、渡邊会計
青木福祉部会長、石田スポーツ健康部会副会長、中山広報部会長、山口防災部会長
秦野公募委員、高野事務局(兼子ども育成部会副会長)

※ドリーム型とは

その地区の将来のあるべき姿を市と協議会で語りあうことで、今後の協議会の活動について、その方向性を決める機会とする。

湘南地区まちぢから協議会では、令和3年度、市長はじめ行政幹部と地区住民が一堂に会する意見交換会は、コロナ感染拡大防止の観点及び市長等の行政幹部の感染に伴う市政運営のリスクマネジメントを鑑み、実施しない方針を決定しました。

しかしながら、コロナ禍においても、様々な工夫を凝らして継続してきた活動状況等について、市長・両副市長へ動画で報告するとともに、湘南地区の地域課題や将来のあるべき姿について、「ドリーム型」による意見交換を、開催しました。

【議題】

- ① 第一部(10分程度): 湘南地区まちぢから協議会の活動状況報告を実施。

- ・おでかけワゴン、ひまわりでみまもり、中中トレイン、洪水ハザードマップ作成等の事業を動画で紹介し、担当より補足説明を実施した

添付: 湘南まちぢから協議会 紹介ビデオ
(👉クリックしてください)



- ② 第二部(20分程度+α)

湘南地区の活動状況について、市長からコメント

- ・湘南地区の将来あるべき姿について、制限時間の関係で下記3つのテーマに絞って意見交換を実施。

スポーツ施設の拡充について

東京2020オリンピック、パラリンピックでは、無観客の中で開催されましたが、沢山の勇気、感動を頂きました。その中でも、スケートボードが初めて競技種目になり、日本の若い人が大活躍したのを見てスケートボードをはじめたいと思った子どもたちが多くいることでしょう。

湘南地区には、湘南バイパス下のわくわく公園に施設がありますが、現在は工事で使用できず、一般道路などで練習している状況で危険です。

今後、例えば柳島スポーツ公園、または、しおさい公園に、スケートボードが安心して練習できる場所、また、大人も子供も楽しめるスポーツクライミングの壁、世界へ羽ばたく子供たちの育成の場所に成るよう、子供達に夢を持たせるような環境作りをご検討願います。



塩崎副市長より答弁



質問する石田スポーツ健康部会副会長

洪水災害時「高齢者」「障がい者」の避難所について

台風等の大雨で氾濫が懸念されている相模川と小出川に隣接している中島、柳島自治会の避難行動要支援者(対象者含め)は、約340名と年々増加しています。

洪水災害時の避難所は、3カ所(西浜小、中、高校)指定されていますが、この避難所までは遠距離のため、「高齢者」や「障がい者」は暴風時の移動(徒歩、車イス等)は、困難な状況となります。

“命”に関わる懸念事項として、新たな避難所(例えば、ハマミーナ)開設等のご提案を宜しくお願い致します。



岸副市長による答弁



質問する青木福祉部会長

湘南地区「道の駅」開発について

道の駅の工事が始まっていますが、地域として盛り上がりがない。茅ヶ崎市としてどのような道の駅にしようと考えていますか？

湘南地区では、茅ヶ崎市がホノルル市・郡 姉妹都市協定締結されており、海の近くにできるので、また、フラ人口の多いことからハワイアン的な街を希望します。



質問する高山副会長